├────────────────────────────────────			
機械設備工事特記仕様書	項 目 特 記 事 項	項目特記事項	種目適用項目特記事項
工事名称 滋賀県立大学(第2期)トイレ改修工事	※ 11 検査合格書 各種検査を必要とするもの、責任施工のもの等は、各合格書または保証書及びその写し各一部を		工事範囲及び説明 g
工事場所 滋賀県彦根市八坂町2500 工事期間・限 日間・・・・令和 年 月 日	等 提出すること。なお、責任施工のものは、請負契約者、施工下請業者、材料製造所連名書とする。 ※ 12 建築工事と コンクリート部分の梁・壁・床の貫通部補強及び仕上部分の軽量鉄骨天井下地、同壁下地の開	公衆災害防止 要綱 (国土交通省告示第496号 令和元年9月2日、以下「新要綱」)」が告示されたため、公共 対策要綱 建築工事標準仕様書に位置付けのある「建設工事公衆災害防止対策要綱」は新要綱に読み替える。	
工事概要説明 滋賀県立大学(第2期)改修を行う	の取合い 口部補強は建築工事とするも、事前に施工図を作成し、監督職員、建築工事業者承認の上とする。	般 ※34 施工計画書 受注者は、施工計画書の作成にあたり、「その他」の事項として新型コロナウイルス感染症の感染	
上記伴う機械設備工事の一切を行う。	※ 13 既存設備関 施工に際し、既設内容、取合いをよく調査すると共に既存施設の担当者と十分協議を行い、	共 拡大防止対策を記載するものとする。	煙 排 煙 方 式 A 方式=手動操作 → 排煙ダンパー → 自動起動盤 → 排煙機
エ	係 その機能を低下せしめてはならない。 ※ 14 公害対策 工事着手前に付近の状況を調査し、公害対策は工事竣工まで講ずること。	必要と認める拡大防止対策のうち共通仮設および現場管理の範囲を超え、受注者が追加で費用を要する 拡大防止対策を行う場合は、受発注者間で設計変更の協議を行うこととする。協議における資料は	B方式=煙感知器 → 中継器 設
	※ 14 公告対策 工事有手前に特近の状況を調査し、公告対策は工事竣工まで講りること。	通	せい
	の処理を提出して承諾を受けること。	車	
	①本工事に使用する特定建設資材及び排出する特定建設資材廃棄物については、「建設工事に係	尹 	
※該当工事には適用欄に〇印を附す。	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	項	10
┃	②「資源の有効な利用の促進に関する法律」(リサイクル法)及び建設副産物適正処理推進要綱		
1 受 水 設 備	を遵守し、一定規模以上の工事においては、再生資源利用「促進」計画書及び同実施書を作成し		暖 冷温 熱源 機 直だき吸収式冷温水発生機(単効用・二重効用)、
事 O 2 給 水 設 G O 3 排 水 項 O	速やかに報告のこと。	種目適用項目特記事項	房 水冷チリングユニット、空冷式ヒートポンプチラーユニット
O 3 排水通気設備 O 4 衛生器具設備	_ ③受注者は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」を遵守し、同法12条の3によるマニフェ ストシステムにより的確に実施すること。	工事範囲及び説明	設
5 ガ ス 設 備	16 発生材の処理 引渡を要するもの:		
6 消 火 設 備	般 17−1 保険の付与 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。	1 負担金等 要、不要	
7 給 湯 設 備 O 8 換 気 設 備 O	及び事故の補償	量 水 器 貸与、本工事 受 水 タ ン ク l () 製、容量(有効 <u>) m3、耐震(0.6・1.0・1.5</u>) G	11 放 熱 器 ファンコイルユニット、ファンコンベクタ、コンベクタ、ベースボードヒータ
O 8 換 気 設 備 9 排 煙 設 備	(法定外の労災保険 の付与)	受	
10 暖 房 設 備	□ 17-2 保 険 等 □ 受注者は工事の内容に応じた火災保険、建設工事保険等を工事目的物に付するものとする。	水 揚 水 ポ ン プ ロ径()mm ф × ()m H × ()k W	冷
概 11 冷 房 設 備	18 監督職員事 規模 ・1号 ・2号 ・3号 ・4号 ・5号 ・設けない	給 水 ポ ン プ ロ径 () mm φ × () m H × () k W	房 配 管 材 料 冷温水管:水道用亜鉛めっき鋼管、耐熱性ビニルライニング鋼管
	ろ	設配管材料屋外配管:硬質塩化ビニル管 HIVP·VP、ビニルライニング鋼管 VDポリ粉体ライニング鋼管 PD	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
		備 屋内配管:ビニルライニング鋼管 VA	神水配管:脱酸銅管し、断熱材板復銅管 排水配管:硬質塩化ビニル管 VP
	ると共に、近隣家屋に騒音、振動等公害発生のなき様留意し、全般に支障なき様万全の策を講	保温工事施工は標準図による。	油 配 管: SUS304溶接鋼管、圧力配管用炭素鋼鋼管(黒)
	ずること。また、施設運営についても、担当者と協議を行い支障なき様に努めること。	〇 工事範囲及び説明 既設講義棟(A-1棟)・共同講義棟(A-3)の便所改修に伴い 各器具への供給を行う	
	_ 20 統括安全衛生 労働安全衛生法第30条第2項の統括安全衛生管理義務者には、(建築工事 電気設備工事	│	空 保温 保冷 施工は標準図による。 気 身 動 制 御 本工事では次の制御を行な う 。
	_ 管理義務者 機械設備工事)の受注者を指名する。 	2 ○ 配 管 材 料 屋 外 配 管:硬質塩化ビニル管 HIVP、ビニルライニング鋼管 VD	調
安	21 創意工夫等 受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、または地域社会	ポリ粉体ライニング鋼管 PD	和 中 央 監 視 中央監視盤を設け、システムの集中運転監視を行なう。
別途工事 (建築・電気)	実施状況 社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完了時までに提出することができる。	着 屋内ピット配管:[ビニルライニング鋼管 SGP-VD]	7H
	通 ただし、工事成績評定においての高度技術、創意工夫または地域社会への貢献(以下「創意工夫	ポリ粉体ライニング鋼管 PD 水 屋 内 配 管 ビニルライニング鋼管 SGP-VA	
・工事区分表による。	等」という)に対する評価は、施工計画書にそのことが記載され、または事前に受注者から自主 的に創意工夫等にかかる資料が監督員職員あて提出され、それらの項目が創意工夫等に該当する		
機械設 1. 図面及び仕様書に記載されていない事項は、すべて、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕	と判断し、施工等に反映されていた場合に評価するものとし、実施前に施工計画書に記載または	〇 保温 工 事 施工は標準図による。	
備工事 様書、同改修工事標準仕様書および同設備工事標準図の平成31年度版機械設備工事編(以下、「標仕」という) 仕様書 による。	資料等の提出がなされていない場合は評価しないものとする。	備 〇 水 圧 試 験 水圧試験を行い漏水のないようにする。	
仕様書 による。 2. 項目は、〇印の付いたものを適用する。	22 別途工事と 受注者は、工事別の業者間で互いに連絡をとり、定期的に協議会を行い、工事施工上の調整をの連絡協議 図ること。また、工事区分の取合について図示あるも、施工時に必要に応じ協議を行い連絡を	〇 継 手 、 弁 等 ライニング鋼管には管端防食継手(埋設部は外面樹脂被覆型)、管端防食型弁、 ライニング弁を使用する。	
No 名	図ること。	水 質 試 験 飲適試験(10項目+残留塩素)を行う(箇所)。	
建	事 ※ 23 シンナー等 シンナー等については、工事現場に放置することなく、保管を厳重に行い盗難を防止すると共	〇 工事範囲及び説明 既設講義棟(A-1棟)・共同講義棟(A-3)の便所改修に伴い 各器具の排水を	
	の保管管理 に、保管数量についても作業前、作業終了後の確認等確実な管理を行うものとする。		
物 物	_ ※ 24 フロンの回 冷媒にフロンを使用している機器の撤去においては、フロン排出抑制法に基づきフロンガスを収等 収等 全量回収し、大気放出をしない処理を行うこと。また、施工に当たっては特定フロンを使用した	# O 配 管 材 料 屋外配管:硬質塩化ビニル管 VP·VU、VP(露出) VU (埋設)	
HBIT.	材料、工法を用いないこと。	水 硬質塩化ビニルリサイクル三層管 RF-VP	
	25 工事実績情報 受注者は、工事請負代金 500万円以上の工事について、工事実績情報サービス(CORINS)入力シ	通 下水道用リサイクル三層硬質塩化ビニル管RS-VU(埋設部) 屋内配管:衛生器具への接続は硬質塩化ビニル管 VPとする(立ち上げ部分)	
_要	_ の作成・登録 ステムに基づき、「登録のための確認のお願い」を作成し監督職員の確認を受けた後、	気	
計	_ 「一財)日本情報総合センター(JACIC)に登録するとともに、センター発行の「登録内容確認書	設 排水用ビニルライニング鋼管 DVLP、耐火二層管 (2階3階部分)	
項 目 特 記 事 項	(1)受注登録の期限は、契約締結後10日以内とする。	備 保 温 エ 事 施工は標準図による。	
	(2)竣工登録の期限は、工事完成後10日以内とする。	O そ の 他 曲がり部はできる限り大曲がりエルボを使用し、排水の流通を良くする。	
一切 日 一般共通事項の扱いは、本工事が単独の工事又は分離発注の場合は以下の主項目を適用し、 他工事に含まれる一括発注の場合は、※印を付したものを適用する。	(3)受注登録の内容に変更があった場合は、変更があった日から10日以内に変更登録を行う	(4) □ ○ □ 工事範囲及び説明 □ 既設講義棟(A-1棟) ・共同講義棟(A-3)の便所改修に伴い器具改修を行う 衛 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	使 用 機 材 製 造 者 指 定
※ 1 施工基準 イ 本工事は、工事請負契約書及び同約款を遵守し、本特記仕様書、図面 葉及び標準仕様書	※ 26 工事関係車 受注者は電波法を遵守し、不法無線局を搭載した工事車両を使用しないものとする。また、現		本工事に使用する機器材料は、下記に指定する製造者のものを使用のこと。ただし、同等品を使用する場合には、建築
により完全に施工する。なお上記相互間に相違のある場合の優先順位は記載の順序とする。	両の電波法 場において不法無線局を搭載していると疑わしい車両を確認したときは、速やかに監督職員に	器 ○ 衛 生 器 具 器具リストによる。	課所定の様式により承諾を得て使用のこと。
ロ 必要な関係諸官庁への申請手続き等は、全て受注者の負担とする。 ハ 本図は、工事の大要を示すものであるから、詳細位置等については監督職員と打合せの上、	遵守	具	適用 機 材 名 製 造 業 者 ○ 配 管 類 JIS規格等適合品製造者
その指示に従い施工する。	上措置 を提出し徹底を図ること。	設	○ 弁 類 JIS規格等適合品製造者
ニ その他関係諸法規に基づき完全に施工する。	28 技術検査 工事施工途中において、適宜中間技術検査を実施する。	# そ の 他 衛生器具・手すりの取付けにあたってはメーカーが指定する補強を行うこと。 備 # # # # # # # # # # # # # # # # # # #	タ ン ク
※ 2 監理指針 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修機械設備工事監理指針(令和元年版)に準ずる ※ 3 施工監理チェ 施工に際し、施工手引き書である機械設備工事施工監理チェックリスト(滋賀県土木交通部建	_ ※ 29 施工上の留 │ イ 液化石油ガス設備工事を施工するものは、特定液化石油ガス設備工事事業者であること。	工事範囲及び説明	ボ ン ブ
一 ックリスト 築課 2019年度版)に従う。	意事項等 ロ 液化石油ガス設備工事の作業に従事する者は、液化石油ガス設備士であること。 ハ 液化石油ガスの各種検査は、供給者または保安機関の検査を受け合格すること(記録紙お	5	
4 完成図 完成図の種類、記入内容および様式は標仕により作成し、原図、CADデータおよび焼付製本	よび検査写真を提出すること)。	ガス計量器 貸与、本工事	フレキシフ゛ルシ゛ョイント(SUS)
(縮小版A4サイズ) 部を提出するものとする。 なお、標仕1.7.2(1)図面の種類に本特記仕様書を加えたものとする。	ニ 給水配管の接合剤は、上水道用の接合剤とする(継手指定品を除く)。	ガ 配 管 材 料 屋 外 配 管:配管用炭素鋼鋼管(白)(露出部)、ポリエチレン被覆鋼管(埋設部)、	フレキシフ゛ルシ゛ョイント(コ゛ム)
5 保全に関す 保全に関する資料は標仕により作成し、監督員に指示された必要部数の原本、複写図および	│	ポリエチレン管(埋設部) ス 屋内埋設配管:ポリエチレン被覆鋼管、ビニル被覆鋼管	Manual
る資料 電子データを提出するものとする。なお、作成に際しては、国土交通省作成の「建築物等の利用に	へ 建物内埋設配管は全てスラブより吊るものとし、その要領は標準仕様書の屋内配管の支持	量 内配 管:配管用炭素鋼鋼管(白)、フレキ管(SUS)	グリストラップ
関する説明書作成の手引き」を参考とし、詳細については監督員の指示による。	要領に準ずる。	試気密試験後、点火試験を行い燃焼の確認、機器調整を行う。	○ 衛生陶器類 T0T0 リクシル
# 6 工事写真 区 分 分類・規格 撮影枚数 部数(ネガ1枚に付) 備 考	_ ト 暖房給湯設備における試運転用油量は、オイルストレージタンクの1/3以上とする。 チ 空気調和設備における仕切弁については、100A以上はバタフライ弁(JIS10K)とする。	備 ガスの種 別 都市ガス(13A)、プロパンガス そ の 他 配管については、大阪ガスの責任施工とする	
工事中 カラー・サービス 1 必要に応じ	_	10日については、八阪ハハの貝に肥工とする	瞬間湯沸器
完成時 カラー・サービネ 6・①・20 2	工場製品を使用し、漏水防止を図る。	6 工事範囲及び説明	A
定期提出 カラー・サービス 3・⑤・7 2 月末報告用 完成写真の撮影場所は監督職員の指示による。工事写真は全て工事写真帳に貼り付け提出する。	ヌ 機械設備工事内で電気設備を含む場合には、別途電気設備工事に全て準ずる。	消	
一	ル 機器の据付、配管支持については、『建築設備耐震設計施工指針』を参考とする。 ヲ 風量調整ダンパー、防排煙ダンパー類は、全て工場製作品とし、(財)日本建築センターの	月 川 八 水 槽 () 製、容量(有効) m3、(専用・受水槽兼用) 川 川 大 充 水 槽 () 製、容量(有効) m3	ガース 来 G 装
カ 現場代理人 原則として、現場代理人は他の工事と重複して従事することはできない。	防災認定マークを貼付されたものとする。	火 │ 消 火 ポ ン プ │ 口径()mm φ × (<u>)m H × (</u>)k W	净 化 槽
契約約款第10条第3項の規定に基づく現場代理人の常駐義務を緩和する期間および本工事におけ 現場代理人が他の工事の現場代理人を兼務できる条件は、別に定める「現場代理人の常駐に関す	こ。これには主人だるうの派がありに記上して西ボスがで派上が交回がには自動主人派とうと	設 消火栓箱 既設(2号消火栓) 配	送 風 機
現場代理人が他の工事の現場代理人を兼務できる条件は、別に定める「現場代理人の常駐に関する。	る 取付ける。 カ 保温工事については、極力滋賀県保温保冷事業協同組合員等県内業者とする。	一 配 管 材 料 屋外配 管:ビニル被覆鋼管 SGP-VS・配管用炭素鋼鋼管(白) 備 屋内配管 :配管用炭素鋼鋼管(白)	O 換 気 扇 三変
①現場代理人の常駐を要しない期間	ヨ 当該工事において、既設配管、既設埋設配管があった場合は監督職員の指示により、迂回	偏 と	排 煙 機
・請負契約の締結の日の翌日から令和 年 月 日までの期間については、現場代理人			防火・防煙・排煙ダンパー
□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	の上、安全に処理する。 タ 環境配慮の視点から、以下の材料の利用に努めること。	7 工事範囲及び説明	
通 通 仮設工事等が開始されるまでの期間(現場事務所の設直、真機材の搬入文は 仮設工事等が開始されるまでの期間)については、現場代理人の工事現場への常駐を要しな		給 給湯ボイラ 鋳鉄製セクショナルボイラ、鋼製ボイラ、ガス <u>炊きポ</u> イラ	冷
い。なお、現場施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督職員との打合せ	(2) 建設リサイクル法により再資源化されたリサイクル製品、材料	電気温水器、給湯器	空 調 機
において定める。 ②工事が完成し、事務手続き、後片付け等のみが残っているなど、工事現場において作業等が	(3)滋賀県リサイクル製品認定制度に基づく滋賀県リサイクル製品 (参考URL http://www.pref.shiga.jp/d/haikibutsu/gomizero/h2112reeflet.pdf)	湯 │	放 熱 器
行われていない期間については、現場代理人の工事現場への常駐を要しない。	※ 30 暴力団員等 滋賀県の発注する建設工事等における暴力団員等による不当介入の排除について(「不当介入	設 保温付き被覆銅管(保温厚14mm以上)、ポリブテン管	○ 吹出口・吸込口協立エアーテック空研工業
現場代理人は、受注者との直接的な雇用関係が確認できる資料を監督職員に提出すること。	による不当 に関する通報制度」の徹底について)	備 保温 工 事 施工は標準図による。	製缶類
8 技術管理 請負人は、建設業法で定める専任の技術者の任命を行い、現場に派遣し、技術管理にあたらせること。 事 ① 技術者の専任を要しない期間	71 71 77 77 77 77 77 77 77 77 77 77 77 7	○ 工事範囲及び説明 既設講義棟(A-1棟)・共同講義棟(A-3)の便所改修に伴い機器・ダクトの改修を行う	自動制御機器
		(8)	
術者の工事現場への専任は要しない。	速やかに警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うものとする。	換 〇 送 風 機 壁付換気扇・天井埋込換気扇・全熱交換器・ダクトファン	
・請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間(現場事務所の設置、資機材の搬入又	2 受注者は、前項により通報を行った場合には、速やかにその内容を記載した通報書	O ý / /	
仮設工事等が開始されるまでの期間)については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督職員		気 〇 保 温 換気扇の外気側給排気ダクトは、保温すること。 〇 施 エ 送風機据付については、防音、防振に注意して施工のこと。	
の専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約の締結後、監督職員との打合せにおいて定める。	また、請負者は、以上のことについて、下請負人(再委託の協力者を含む)に対して、 十分に指導を行うものとする。	□ ○ 施	※工事図記号(凡例)は別図()による。
項 ② 滋賀県建設工事請負契約約款(以下「契約約款」という)第31条第2項の規定に基づく検査を	3 受注者は、暴力団員等による不当介入を受けたことが明らかになり、工程等に被害が生じた		
完了した日から契約期間満了までの期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を悪しない。なお、検索を完えした日本は、発送者が契約約款第21条第2項に基づく選挙	物自体、血自株質に加磁するののとする。	VH	
の専任を要しない。なお、検査を完了した日とは、発注者が契約約款第31条第2項に基づく当 検査の結果を通知した日(契約約款第31条第6項に該当するものを含む)とする。	該 31 環境配慮指針 公共事業に係る環境配慮指針実施要領に基づく、チェックシートを作成し提出すること。 32 週休2日取組 本工事は、受注者が工事着手前に発注者に対して週休2日に取り組む旨を協議した上で工事を		
なお、日程上の都合上、契約工期満了後に検査が行われる場合は、契約工期完了後の監理技			
術者等の工事現場への専任を要しない。	(受注者希望方式) 「(営繕工事版)週休2日取組促進型工事実施要領」により行う。		
9 技能士 適用工事種別 ・配管施工:1級 ・熱絶縁施工:1級	4週8休以上の現場閉所(現場休息)を前提に労務費を補正して予定価格を作成しており、	株式会社 丸山建築事務所 板橋 晶一	構造設計 一級建築士登録 構造設計 名称 No.
・冷凍・空気調和機施工:1級 ・建築板金施工 ※ 10 下請業者機 各種下請業者、機器材料等県内で供給できるものについては、極力県内業者、県産品を選定す	4週8休に満たない場合は、現場閉所(現場休息)の状況に応じて請負代金額のうち労務費補正分を 滅額変更する。週休2日の取り組みを実施しない場合は、請負代金額のうち労務費補正分を	ー級建築士事務所登録第タ39号 一級建築士登録 第213806号	大臣() 交付番号()
材等の選定 ることとし、製品等は特記されたものまたは同等品以上とする。ただし、同等品以上とする場	減額変更する。		構造/設備関係規定 一級建築士登録 構造設計/設備設計 図名 機 械 設 備 特 記 仕 様 書 縮尺
合は、監督職員の承諾を受ける。	なお、学校の長期期間(夏休・冬休・春休)は、監督員と協議の上、非対象期間とすることができる。		への法適合を確認した 大臣 (文付番号 ()

新 設 衛 生 器 具 リ ス ト 共通講義棟 A1棟 (改修)

1 階 2 階 品 名 参 考 品 番 │男子便所 │女子便所 │男子便所 │女子便所 │男子便所 │女子便所 1 2 洋 風 便 器 UAXC3CS1B1(フラッシュタンク式) |TCF5830S(瞬間式. 擬音装置. 便蓋あり)・エコリモコン・センサースイッチ・フラッシュタンク式用点検口付ライニング ・便器消毒ディスペンサー・SUS製棚付二連式紙巻器(YH702) 2 3 2 3 和 風 便 器 C755VU(フラッシュバルブ式) TEFV70UHA(自動フラッシュバルブ)・配管セット・THE27(電波受信ユニット)・TES47MR(タッチスイッチユニット)・擬音装置(YES412R. AC100V)・SUS製棚付二連式紙巻器(YH702) 1 1 壁掛小便器 XPU21A(マイクロ波センサー) 小便器(XPU21Ax3). ライニングパーツ(UAUN63RA1W)・小便器用手すり(T115CU3R#NW1)・ハイドロ・フロアPU(AB690BR#HB4x3) MLWE-600 ツインデッキタイプ │ L=2200 スペースアップタイプ 自動水栓(REAH03B1S125=電気温水器付. AC100V) x3・自動水石けん供給栓(TLK06S04・ブラット共) マーブライトカウンター ボール3連・陶器タイプ 止水栓・排水金具・ブラケット・カウンター専用専用手すり(M268Nx2)1ヶ所 ・フロントパネル(扉式)MFS.扉.底板 |MLWE-600 ツインデッキタイプ │ L=1500 スペースアップタイプ 自動水栓(REAH03B1S125=電気温水器付. AC100V) x3・自動水石けん供給栓(TLK06S04・ブラット共) マーブライトカウンター ボール2連・陶器タイプ │ 止水栓・排水金具・ブラケット・カウンター専用専用手すり(M268Nx2)1ケ所 ・フロントパネル (扉式) MFS.扉.底板 マルチシンク SK500 (シンク) . T200BSQ13 (水栓) . TK40P1. 取付金具 |モップ掛けパネル UTR422S 鏡 EL80017 洗面器用(450x1000) (取付金具共) 2 3 2 3 鏡 YMK50K 全身用(300x16x1500) (取付金具共) 2 3 2 3 ツ ク YKH22

新 設 衛 生 器 具 リ ス ト 共通講義棟 A3棟 (改修)

り T112CL9

り T112C4

(L形)・取付金具共

(【形)・取付金具共

す

フイツテングボード YKA41R

手 す

数量については、平面図にて確認を行う事

1 1

数量については、平面図にて確認を行う事

						階	2	階	3	階	数量
品	名				男子便所	女子便所	男子便所	女子便所	男子便所	女子便所	数 里
洋	. 便	器	UAXC3CS1B1(フラッシュタンク式)	TCF5830S (瞬間式. 擬音装置. 便蓋あり)・エコリモコン・センサースイッチ・フラッシュタンク式用点検口付ライニング ・便器消毒ディスペンサー・SUS製棚付二連式紙巻器 (YH702)	1	3	2	4	2	4	16
和	. 便	器	C755VU(フラッシュバルブ式)	TEFV70UHA(自動フラッシュバルブ)・配管セット・THE27(電波受信ユニット)・TES47MR(タッチスイッチユニット)・擬音装置(YES412R. AC100V)・SUS製棚付二連式紙巻器(YH702)	1	1					2
壁掛	小 便	器	XPU21A(マイクロ波センサー)	小便器(XPU21Ax3). ライニングパーツ(UAUN63RA1W)・小便器用手すり(T115CU3R#NW1)・ハイドロ・フロアPU(AB690BR#HB4x3)	1		1		1		3
マーブラ	イトカウ	ンター	MLWE-600 ツインデッキタイプ ボール3連・陶器タイプ	L=2200 スペースアップタイプ 自動水栓(REAH03B1S125=電気温水器付.AC100V)x3・自動水石けん供給栓 (TLK06S04・ブラット共) 止水栓・排水金具・ブラケット・カウンター専用専用手すり(M268Nx2)1ヶ所 ・フロントパネル (扉式) MFS.扉.底板		1		1		1	3
マーブラ	イトカウ	ンター	MLWE-600 ツインデッキタイプ ボール2連・陶器タイプ	L=1500 スペースアップタイプ 自動水栓(REAH03B1S125=電気温水器付.AC100V)x3・自動水石けん供給栓 (TLK06S04・ブラット共) 止水栓・排水金具・ブラケット・カウンター専用専用手すり (M268Nx2)1ヶ所 ・フロントパネル (扉式) MFS.扉.底板	1		1		1		3
マル	チシ	ンク		SK500(シンク). T200BSQ13(水栓). TK40P1. 取付金具	1		1		1		3
モップ	掛けパ	ネル		UTR422S	1		1		1		3
化	粧	鏡	EL80017	洗面器用(450x1000) (取付金具共)	2	3	2	3	2	3	15
化	粧	鏡	YMK50K	全身用(300x16x1500) (取付金具共)	1	1	1	1	1	1	6
フ	ッ	ク	YKH22		2	4	2	4	2	4	18
手	す	IJ	T112CL9	(L形)・取付金具共	1	1	1	1	1	1	6
手	す	Ŋ	T112C4	(I形)・取付金具共	1	1					2
フィッ	テングオ	÷ ー ド	YKA41R		1	1	1	1	1	1	6

衛生器具リスト 共通講義棟 A1棟 (既存)

小便器用・洋風便器用ライニング・マーブライトカウンター等の詳細図寸法については、施工時確認を行うこと

特に小便器用・洋風便器用ライニング・マーブライトカウンターについては建築と十分協議確認を行う事

器具の取付部分の補強は建築工事とし、事前に打ち合わせを行い補強箇所の確認を行うこと

施工については、建築工事、施設担当者、電気工事と十分打ち合わせを行うこと

数量については、平面図にて確認を行う事

ライニング・マーブライトカウンター等については納入後の変更はできない可能性があります十分注意の事

注記事項

数量については、平面図にて確認を行う事

		1	階	2	階	3	階	数量
品名	参 考 品 番	男子便所	女子便所	男子便所	女子便所	男子便所	女子便所	以 里
洋 風 便 器	CS140 (フラッシュバルブ式) 同等品 その他付属品共	1	1	1	1	1	1	6
和 風 便 器	C755VU(フラッシュバルブ式)同等品 その他付属品共	1	2	1	2	1	2	6
和風便器用耐火カバー				1	2	1	2	9
小 便 器	UFH500(フラッシュバルブ式) 同等品 その他付属品共	3		3		3		9
マーブライトカウンター	ML 60 タイプ L=1500 ブラケット共	1		1		1		3
マーブライトカウンター	ML 60 タイプ L=2200 ブラケット共		1		1		1	3
洗 面 器	L531 (同等品) 水栓・排水金具等附属品	2	3	2	3	2	3	15
掃除用流し	SK22A・水栓・その他付属品共	1	1	1	1	1	1	6
化 粧 鏡	洗面器用(600x900H) (取付金具共)	2	3	2	3	2	3	15
手 す り	T112CL9同等品 (L形)・取付金具共	1	1	1	1	1	1	6
手 す り	T144CP22R同等品 (腰掛け便器用)・取付金具共	1	1	1	1	1	1	6

※・温水洗浄便座付の洋風便器は、再利用とするので撤去には十分注意の事 撤去後の保管場所は現場指示とする

衛 生 器 具 リ ス ト 共通講義棟 A3棟 (既存)

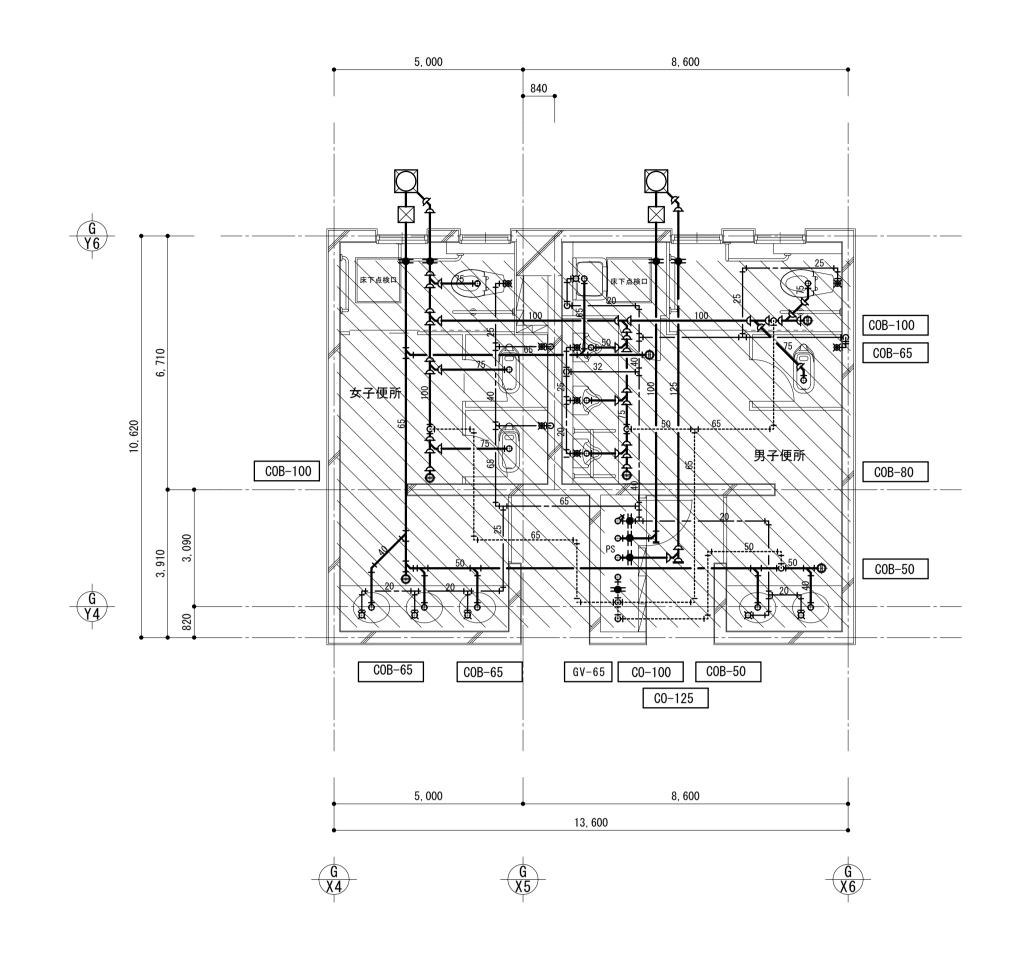
数量については、平面図にて確認を行う事

	6 to = =	1	階	2	階	3	階	数量
品名	参 考 品 番	男子便所	女子便所	男子便所	女子便所	男子便所	女子便所	以 里
洋 風 便 器	CS140(フラッシュバルブ式)同等品 その他付属品共	1	2	1	2	1	2	9
和 風 便 器	C755VU(フラッシュバルブ式)同等品 その他付属品共	1	2	1	2	1	2	9
和風便器用耐火カバー				1	2	1	2	6
小 便 器	UFH500(フラッシュバルブ式) 同等品 その他付属品共	4		4		4		12
マーブライトカウンター	ML 60 タイプ L=1600 ブラケット共	1		1		1		3
マーブライトカウンター	ML 60 タイプ L=2300 ブラケット共		1		1		1	3
洗 面 器	L531 (同等品) 水栓・排水金具等附属品	2	3	2	3	2	3	15
掃 除 用 流 し	SK22A・水栓・その他付属品共	1		1		1		3
化 粧 鏡	洗面器用(600x900H) (取付金具共)	2	3	2	3	2	3	15
手 す り	T112CL10同等品 (L形)·取付金具共	1	1	1	1	1	1	6
手 す り	T144CP22R同等品 (腰掛け便器用)・取付金具共	1	1	1	1	1	1	6

^{※・}温水洗浄便座付の洋風便器は、再利用とするので撤去には十分注意の事 撤去後の保管場所は現場指示とする

株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第レ39号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号		構造設計	一級建築士登録	構造設計 一級建築士登録 交付番号())	名称 滋賀県立大学(第2期)トイレ改修工事	M – 0 2
			構造/設備関係規定 への法適合を確認した	一級建築士登録	構造設計/設備設計 一級建築士登録	図名 給排水衛生設備 (共通講義棟A1・A3棟)	縮尺





COA-65 COA-100 COA-50 GV-65 CO-100 2, 500 4, 300 6, 800

衛生器具接続口径 品名給水排水 和 風 便 器 25A 75A 洋 風 便 器 25A 75A 小 便 器 20A 50A 洗 面 器 20A 50A マルチシンク 20A 65A

共通講義棟 A1棟 (既存)

1 階便所平面詳細図 S=1:50(A-1)

既存図は参考とする

項目	凡	例
配 管		- 配管切断後、新設配管接続部を示す
配管		- 配管切断後、キャッツプ及びプラグ止めとする

凡 例	
	衛生器具・配管、付属品の撤去範囲を示す。

【注記事項】

- 1.撤去配管については、行先を充分調査のうえ監督職員の承諾を得て施工のこと。
- 2. 和風便器の開口閉鎖は、建築工事その他配管撤去後の穴埋めは本工事とする

共通講義棟 A1棟 (改修) 1 階便所平面詳細図 S=1:50(A-1)

4, 300

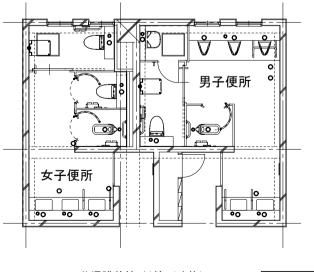
(共通事項)

衛生器具設置に必要な貫通部穴あけは本工事に含むものとし、配筋を切断しないこと。 穴あけ前に鉄筋探査を行うこと。 鉄筋を切断した場合 鉄筋をハツリ出し、新設鉄筋をフレア溶接(10D片面)とする 天井改修=建築工事

改修 (土涌)

	11	<u></u>	(. 共 週)		
項	Į	目		凡	例	
給	水	設	備		既設	給水管
					新設	給水管
					既設約	合水管と新設給水管との接続部をしめす
排	水	設	備		既設	排水管
					新設	排水管
					既設排	
通	気	設	備		既設	通気管
					新設	通気管
				·	既設通	通気管と新設通気管との接続部をしめす

工事に伴う開口部を示す 1. 開口位置図は参考に付き施工に伴い確認を行い位置の決定を行う事 2. 開口については、既設開口部を再確認の上、既設開口部を極力再利用とする事 3. 施工に伴い開口部の変更がある場合は、本工事内で行うこと



o 給水用開口部 〇 排水用開口部

〇 既存開口部

共通講義棟 A1棟(改修) 1 階便所平面図

1階はピット内配管とする

株式会社 丸山建築事務所 ー級建築士事務所登録第レ39号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計		一級建築士登録 大臣(構造設計 一級建築士登録 交付番号())	名称 滋賀県立大学(第2期)トイレ改修工事 	M-03	
		I	受備関係規定 適合を確認した	一級建築士登録	構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号()	図名 給排水衛生設備 (共通講義棟 A1棟 1階平面詳細図(既存・改修)	縮尺) A1:1/50 A3:1/100	

構造設**請義棟 A1棟**級建築士**政修)** 構造設計 一級建築士登録 大臣() 交付番号(株式会社 丸山建築事務所 板橋 晶一 滋賀県立大学(第2期)トイレ改修工事 M - 04一級建築士登録 第213806号 一級建築士事務所登録第レ39号 構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号()) 構造/設備関係規定 一級建築士登録 への法適合を確認した大臣(

改修(共通)	
項目	凡	例
給 水 設 備		既設 給水管
		新設 給水管
		既設給水管と新設給水管との接続部をしめす
排水設備		既設 排水管
		新設 排水管
		既設排水管と新設排水管との接続部をしめす
通 気設備		既設 通気管
		新設 通気管
	•	既設通気管と新設通気管との接続部をしめす

(共通事項) 衛生器具設置に必要な貫通部穴あけは本工事に含むものとし、配筋を切断しないこと。 穴あけ前に鉄筋探査を行うこと。 鉄筋を切断した場合 鉄筋をハツリ出し、新設鉄筋をフレア溶接(10D片面)とする 天井改修=建築工事

共通講義棟 A1棟(改修)

2 階便所平面詳細図 S=1:50(A-1)

共通講義棟 A1棟(既存) 2 階便所平面詳細図 S=1:50(A-1) 既存図は参考とする

項目

凡例

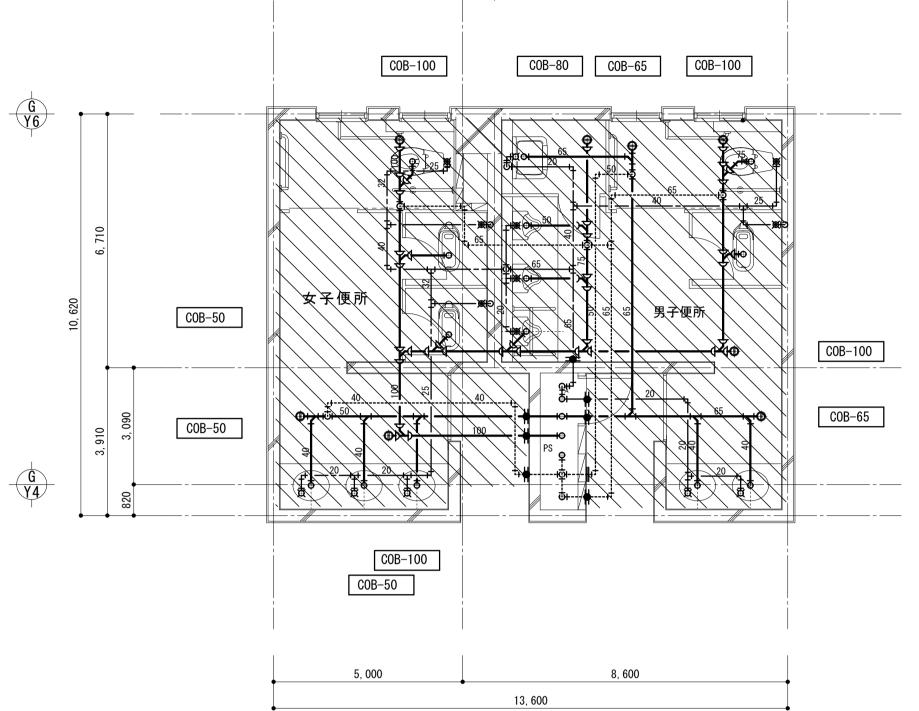
【注記事項】

——— 配管切断後、新設配管接続部を示す

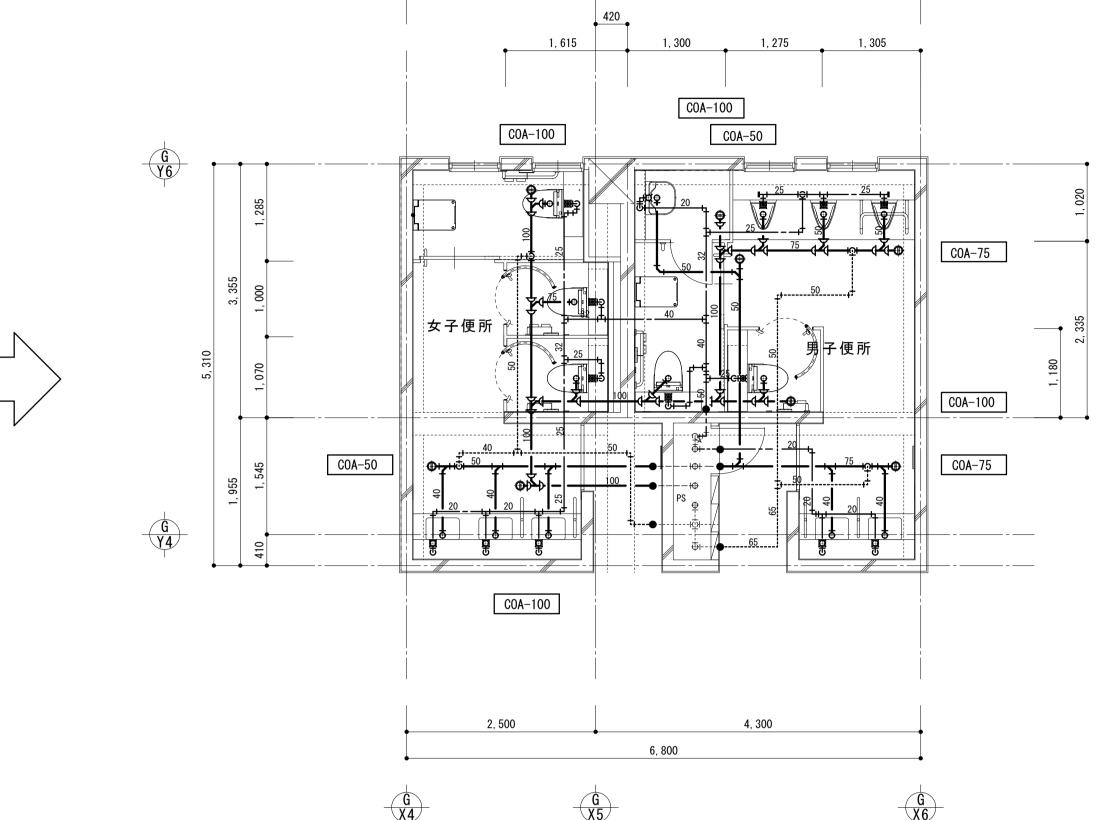
衛生器具・配管、付属品の撤去範囲を示す。

1.撤去配管については、行先を充分調査のうえ監督職員の承諾を得て施工のこと。 2. 和風便器の開口閉鎖は、建築工事その他配管撤去後の穴埋めは本工事とする

—— 配管切断後、キャッツプ及びプラグ止めとする



8, 600



2, 500

工事に伴う開口部を示す 1. 開口位置図は参考に付き施工に伴い確認を行い位置の決定を行い 2. 開口については、既設開口部を再確認の上、既設開口部を極だ 3. 施工に伴い開口部の変更がある場合は、本工事内で行うこと	
女子便所のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	
共通講義棟 A1棟 (改修) 2 階便所平面図	○ 給水用開口部 ○ 排水用開口部 ○ 既存開口部

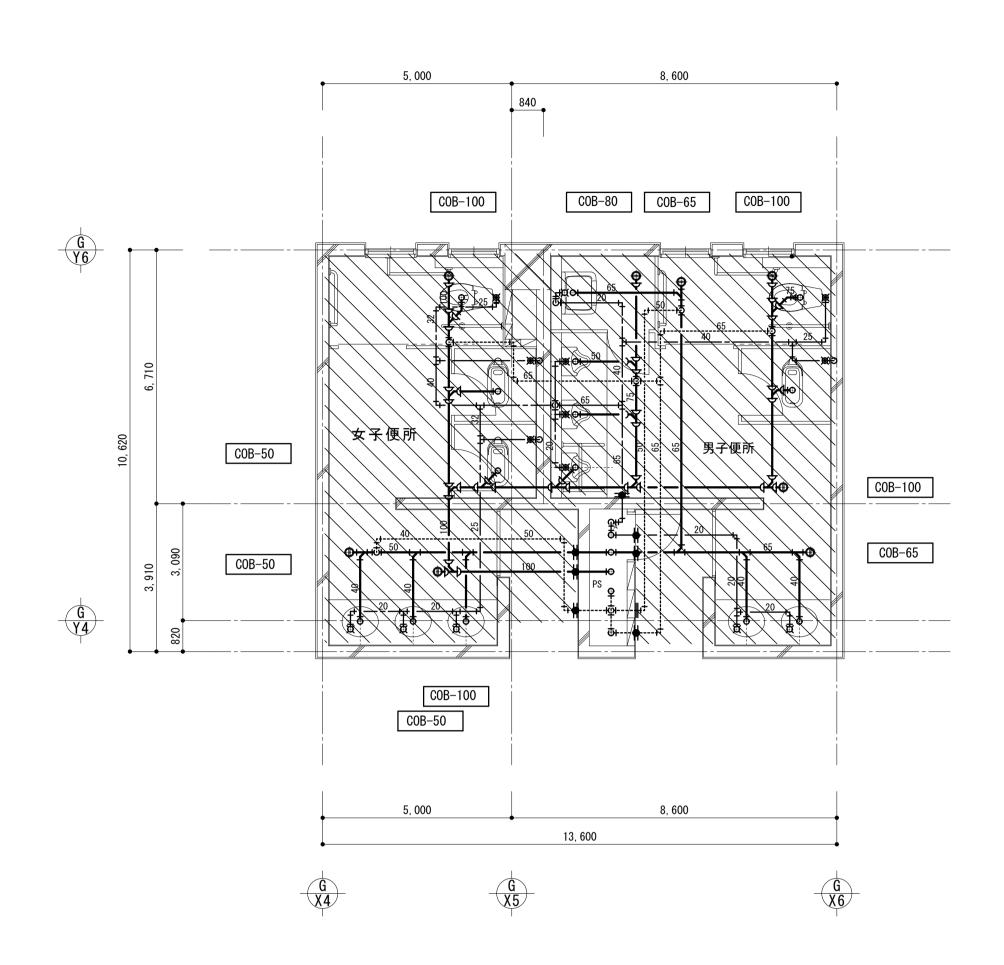
開口位置図は参考に付き施工に伴い確認を行い位置の決定を行う事 開口については、既設開口部を再確認の上、既設開口部を極力再利用とする事 他工に伴い開口部の変更がある場合は、本工事内で行うこと		
開口については、既設開口部を再確認の上、既設開口部を極力再利用とする事 他工に伴い開口部の変更がある場合は、本工事内で行うこと サール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	事に伴う開口部を示す	
地工に伴い開口部の変更がある場合は、本工事内で行うこと 女子 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東京 東 通講義棟 A1棟 (改修)	開口位置図は参考に付き施工に伴い確認を行い位置の決定を	行う事
女子便所 0	開口については、既設開口部を再確認の上、既設開口部を極 <i>!</i> 施工に伴い開口部の変更がある場合は、本工事内で行うこと	カ再利用とする事
	女子便所	
	共通講義棟 A1棟 (改修)	• 給水用開口部

2階は天井隠ぺい内配管とする



マルチシンク 20A 65A





共通講義棟 A1棟(既存)

既存図は参考とする

項目

配管

配管

凡例

【 注記事項】

凡 例

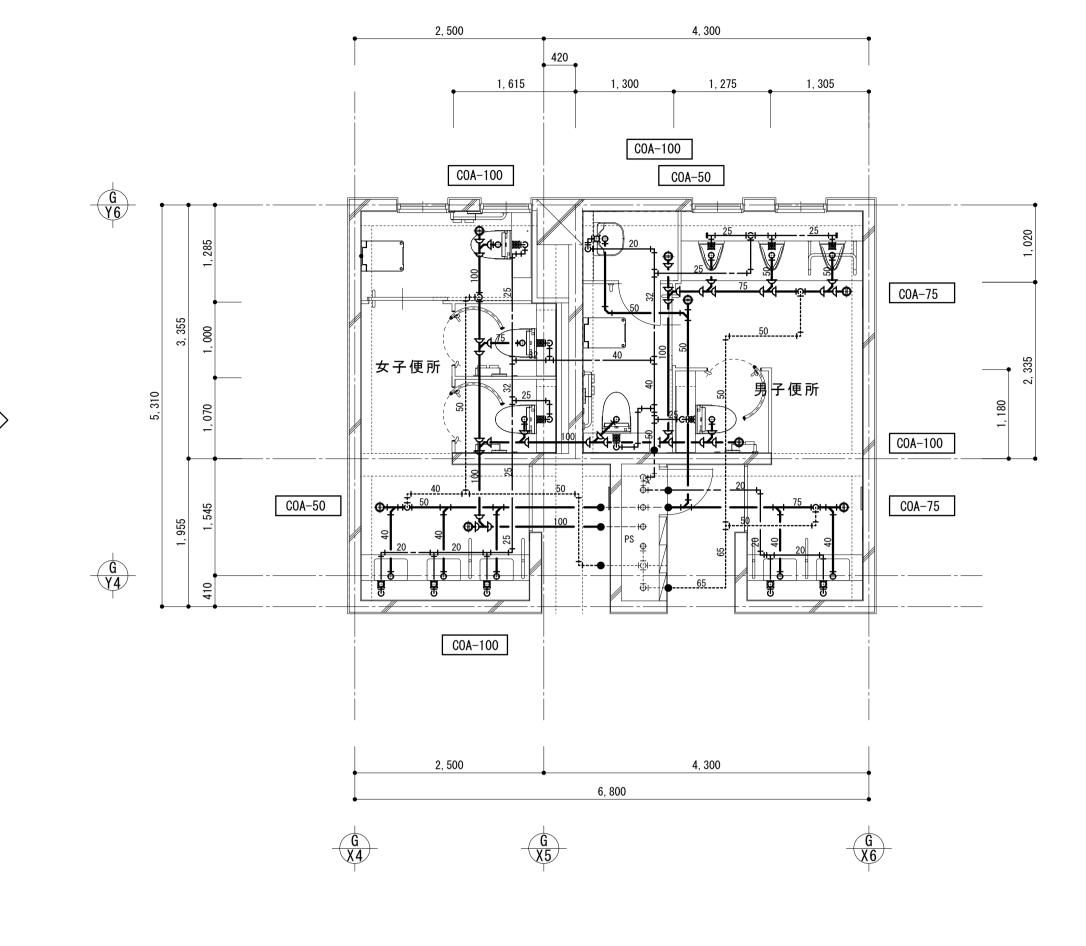
衛生器具・配管、付属品の撤去範囲を示す。

1.撤去配管については、行先を充分調査のうえ監督職員の承諾を得て施工のこと。 2 . 和風便器の開口閉鎖は、建築工事その他配管撤去後の穴埋めは本工事とする

—— 配管切断後、新設配管接続部を示す

配管切断後、キャッツプ及びプラグ止めとする

3 階便所平面詳細図 S=1:50(A-1)





衛生器具接続口径

洗 面 器 20A 50A マルチシンク 20A 65A

共通講義棟 A1棟(改修)

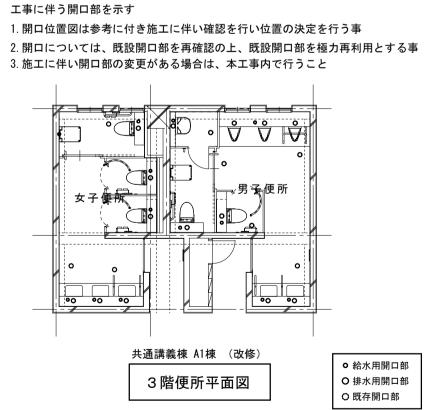
3 階便所平面詳細図 S=1:50(A-1)

(共通事項)

衛生器具設置に必要な貫通部穴あけは本工事に含むものとし、配筋を切断しないこと。 穴あけ前に鉄筋探査を行うこと。

鉄筋を切断した場合 鉄筋をハツリ出し、新設鉄筋をフレア溶接(10D片面)とする

天井改修=建築工事



3 階は	天井陽	急ぺい	内配管	ع ا	する

改修(共通)	
項目	凡	例
給水設備		既設 給水管
		新設 給水管
		既設給水管と新設給水管との接続部をしめす
排水設備		既設 排水管
		新設 排水管
		既設排水管と新設排水管との接続部をしめす
通気設備		既設 通気管
		新設 通気管
	·	既設通気管と新設通気管との接続部をしめす

構造設計 一級建築士登録 交付番号(構造設計 一級建築士登録 板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号 構造/設備関係規定 一級建築士登録 構造設計/設備設計

一級建築士事務所登録第レ39号

株式会社 丸山建築事務所

一級建築士登録 交付番号(への法適合を確認した大臣(

A 排 水 衛 生 設 備 (共通講義棟 A1棟) A1:1/50 3 階平面詳細図(既存・改修) A3:1/100

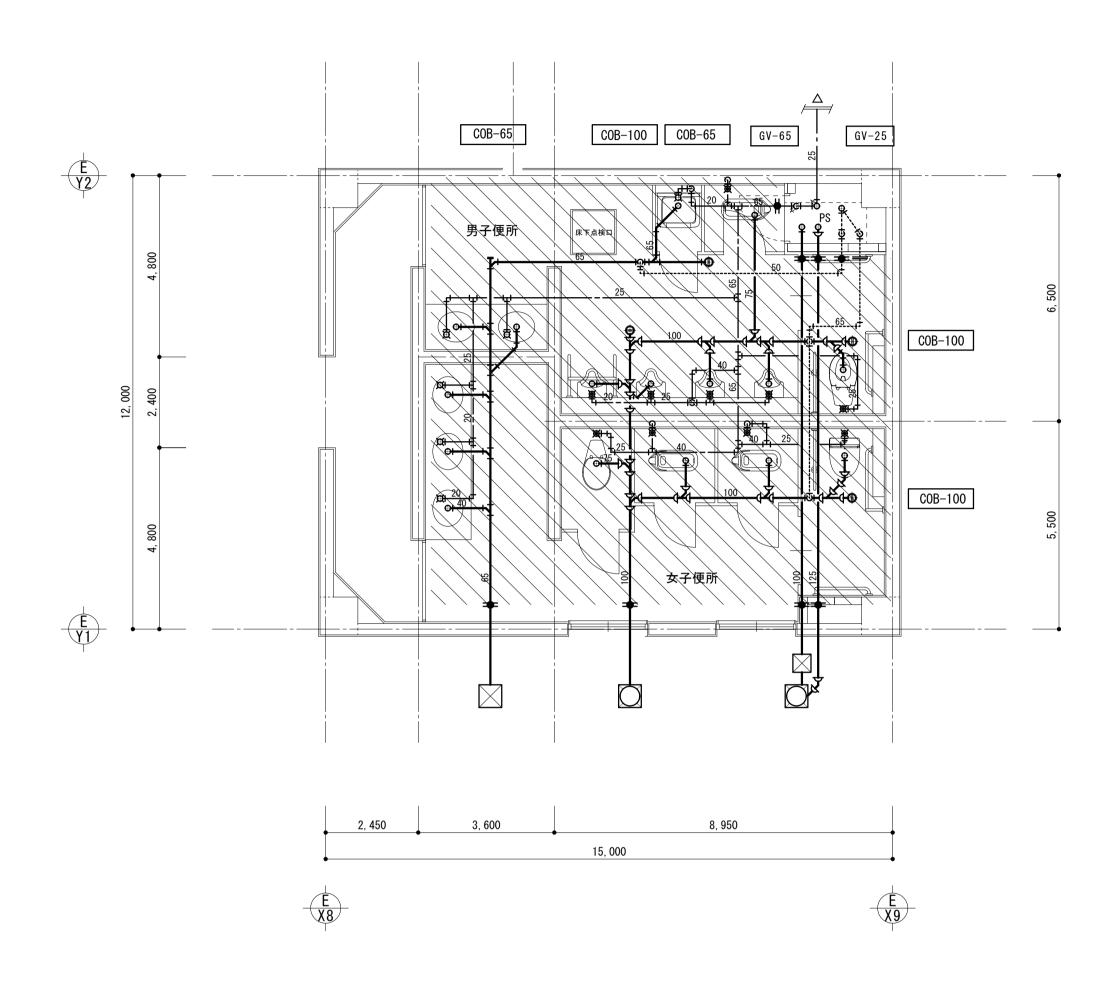
滋賀県立大学(第2期)トイレ改修工事

M - 0.5



衛生器具接続口径

洗 面 器20A50Aマルチシンク20A65A



共通講義棟 A3棟(既存)

1 階 便 所 平 面 詳 細 図 S=1:50(A-1)

既存図は参考とする

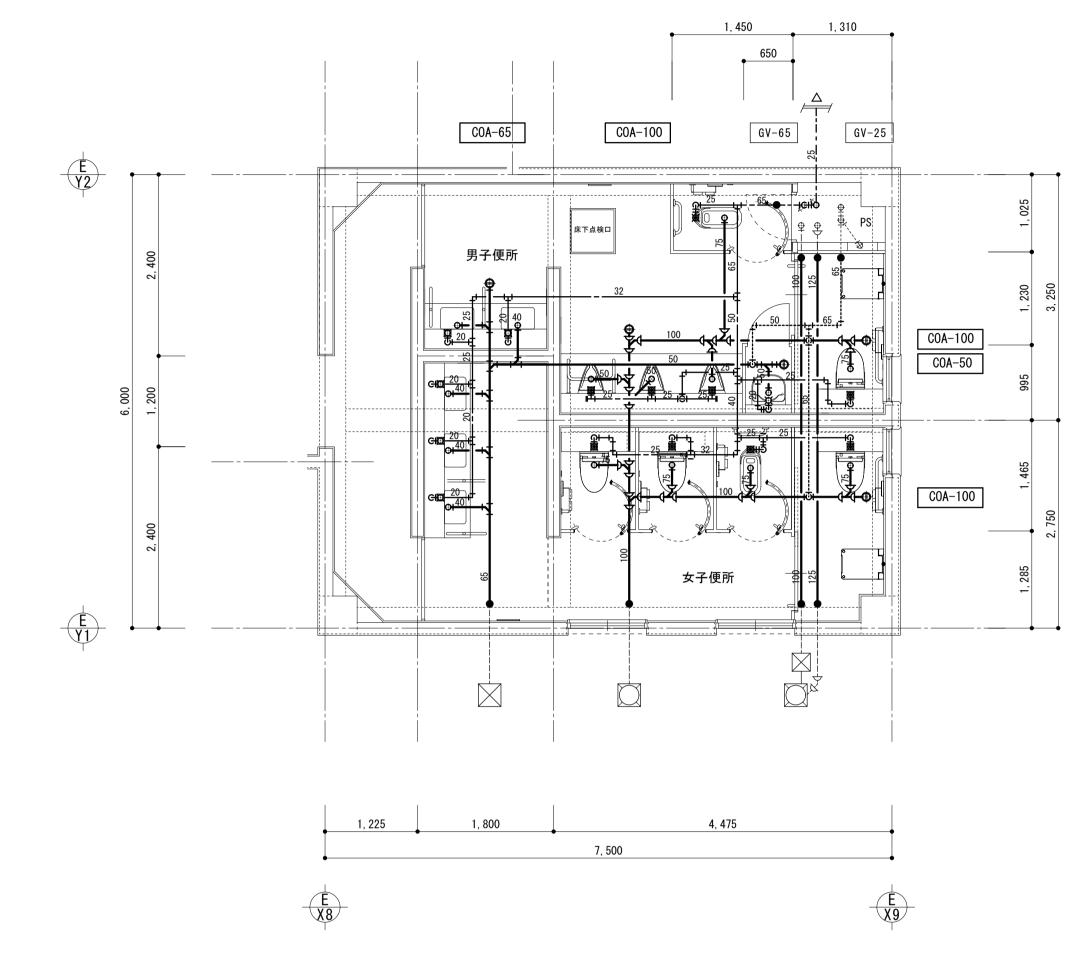
項		凡 例
配	管	─────────── 配管切断後、新設配管接続部を示す
配	管	

凡例		
	衛生器具・配管	、付属品の撤去範囲を示す。

【注記事項】

1.撤去配管については、行先を充分調査のうえ監督職員の承諾を得て施工のこと。

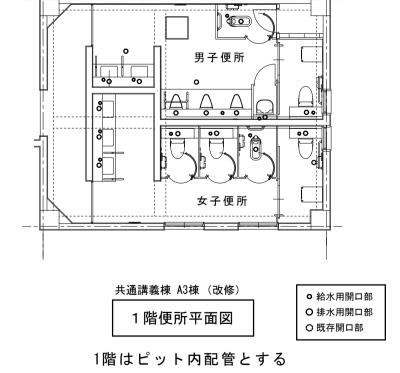
2. 和風便器の開口閉鎖は、建築工事その他配管撤去後の穴埋めは本工事とする



共通講義棟 A3棟(改修)
1 階 便 所 平 面 詳 細 図 S=1:50(A-1)

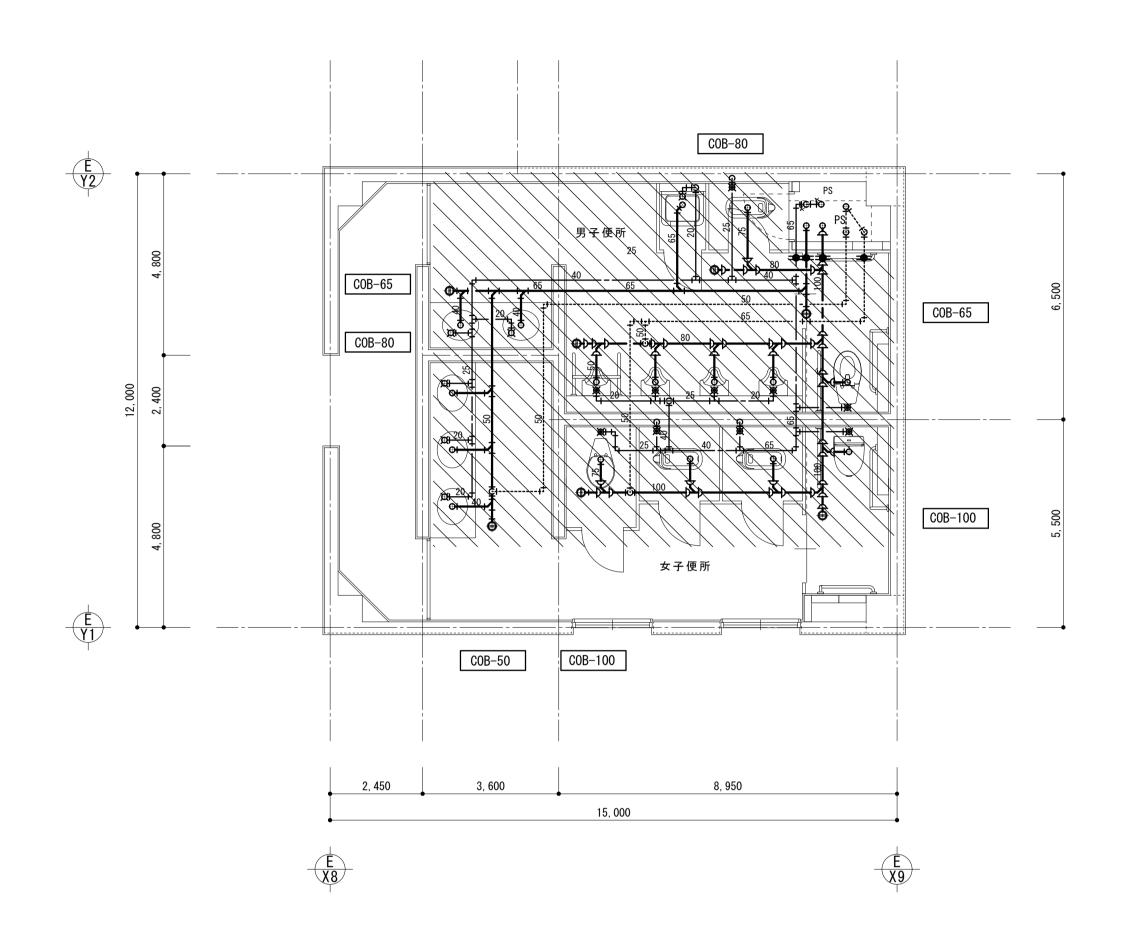
改修(共通)	
項目	凡	例
給 水 設 備		既設 給水管
		新設 給水管
		既設給水管と新設給水管との接続部をしめす
排水設備		既設 排水管
		新設 排水管
		既設排水管と新設排水管との接続部をしめす
通気設備		既設 通気管
		新設 通気管
		既設通気管と新設通気管との接続部をしめす

工事に伴う開口部を示す
1. 開口位置図は参考に付き施工に伴い確認を行い位置の決定を行う事
2. 開口については、既設開口部を再確認の上、既設開口部を極力再利用とする事
3. 施工に伴い開口部の変更がある場合は、本工事内で行うこと



株式会社 丸山建築事務所 ー級建築士事務所登録第レ39号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造設計	一級建築士登録 大臣 ()	構造設計 一級建築士登録 交付番号())	名称 滋賀県立大学(第2期)トイレ改修工事	M-06
		構造/設備関係規定 への法適合を確認し	1	構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号())	図名 給排水衛生設備 (共通講義棟 A3棟) 1階平面詳細図(既存・改修)	縮尺 A1:1/50 A3:1/100





COA-80 COA-80 COA-50 7, 500

マルチシンク 20A 65A

衛生器具接続口径

共通講義棟 A3棟(既存)

2 階便所平面詳細図 S=1:50(A-1)

既存図は参考とする

項	Ħ	J	R.	例	
配	管	—		配管切断後、	新設配管接続部を示す
配	管			配管切断後、	キャッツプ及びプラグ止めとする

凡例	
	衛生器具・配管、付属品の撤去範囲を示す。

【注記事項】

1.撤去配管については、行先を充分調査のうえ監督職員の承諾を得て施工のこと。

2. 和風便器の開口閉鎖は、建築工事その他配管撤去後の穴埋めは本工事とする

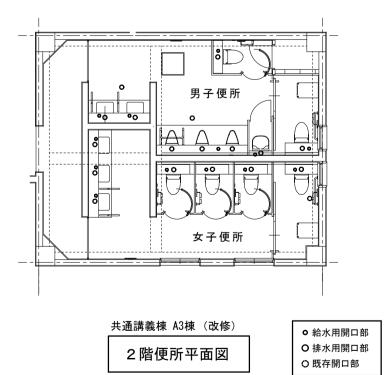
共通講義棟 A3棟(改修)

2 階便所平面詳細図 S=1:50(A-1)

(共通事項) 衛生器具設置に必要な貫通部穴あけは本工事に含むものとし、配筋を切断しないこと。 穴あけ前に鉄筋探査を行うこと。 鉄筋を切断した場合 鉄筋をハツリ出し、新設鉄筋をフレア溶接(10D片面)とする 天井改修=建築工事

改修(共通)	
項目	凡	例
給水設備		既設 給水管
		新設 給水管
		既設給水管と新設給水管との接続部をしめす
排水設備		既設 排水管
		新設 排水管
		既設排水管と新設排水管との接続部をしめす
通気設備		既設 通気管
		新設 通気管
	•	既設通気管と新設通気管との接続部をしめす

工事に伴う開口部を示す 1. 開口位置図は参考に付き施工に伴い確認を行い位置の決定を行う事 2. 開口については、既設開口部を再確認の上、既設開口部を極力再利用とする事 3. 施工に伴い開口部の変更がある場合は、本工事内で行うこと



2階は天井隠ぺい内配管とする

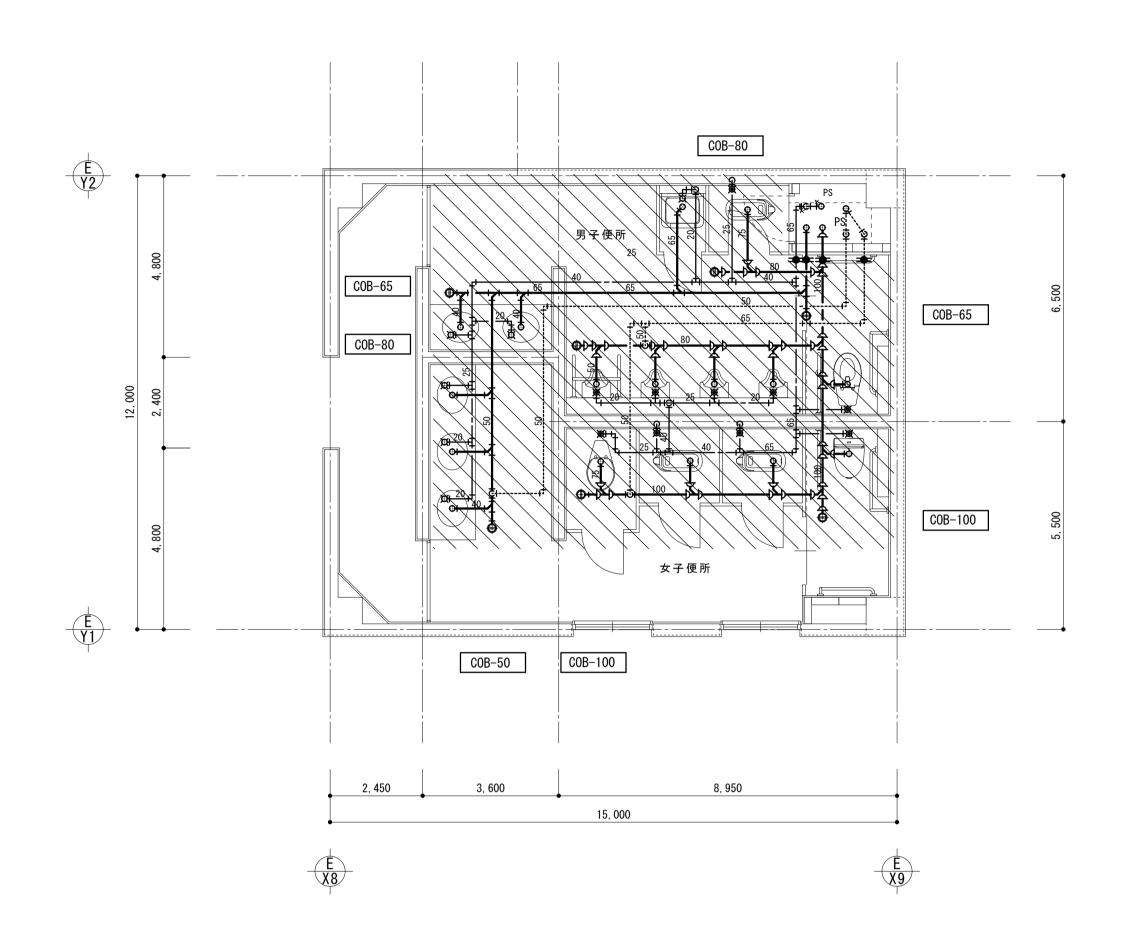
禄 構造設計 一級建築士登録) 交付番号(構造設計 一級建築士登録 株式会社 丸山建築事務所 板橋 晶一 滋賀県立大学(第2期)トイレ改修工事 M - 0.7一級建築士登録 第213806号 一級建築士事務所登録第レ39号 構造/設備関係規定 一級建築士登録 構造設計/設備設計 A 計 水 衛 生 設 備 (共通講義棟 A3棟) A1:1/50 2階平面詳細図(既存・改修) A3:1/100 一級建築士登録
交付番号(への法適合を確認した大臣(



衛生器具接続口径

品名給水排水

マルチシンク 20A 65A



共通講義棟 A3棟(既存)
3 階 便 所 平 面 詳 細 図 S=1:50(A-1)

既存図は参考とする

 項目
 凡 例

 配管
 配管切断後、新設配管接続部を示す

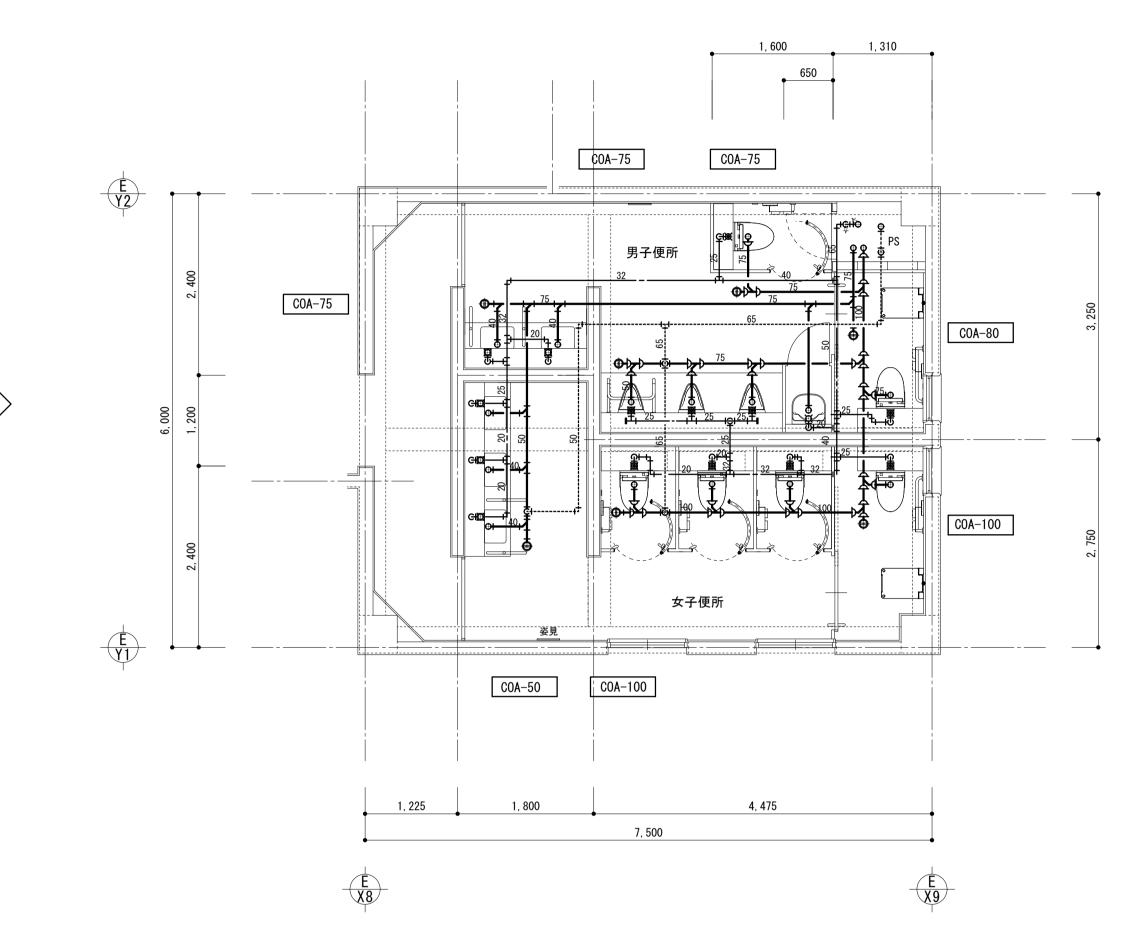
 配管
 配管切断後、キャッツプ及びプラグ止めとする

凡 例 衛生器具・配管、付属品の撤去範囲を示す。

【注記事項】

1.撤去配管については、行先を充分調査のうえ監督職員の承諾を得て施工のこと。

2. 和風便器の開口閉鎖は、建築工事その他配管撤去後の穴埋めは本工事とする

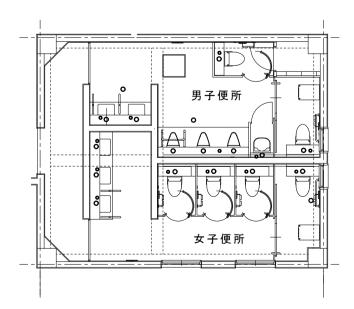


共通講義棟 A3棟(改修)
3 階 便 所 平 面 詳 細 図 S=1:50(A-1)

(共通事項)

衛生器具設置に必要な貫通部穴あけは本工事に含むものとし、配筋を切断しないこと。 穴あけ前に鉄筋探査を行うこと。 鉄筋を切断した場合 鉄筋をハツリ出し、新設鉄筋をフレア溶接(100片面)とする 天井改修=建築工事

 工事に伴う開口部を示す
1. 開口位置図は参考に付き施工に伴い確認を行い位置の決定を行う事
2. 開口については、既設開口部を再確認の上、既設開口部を極力再利用とする事
3. 施工に伴い開口部の変更がある場合は、本工事内で行うこと

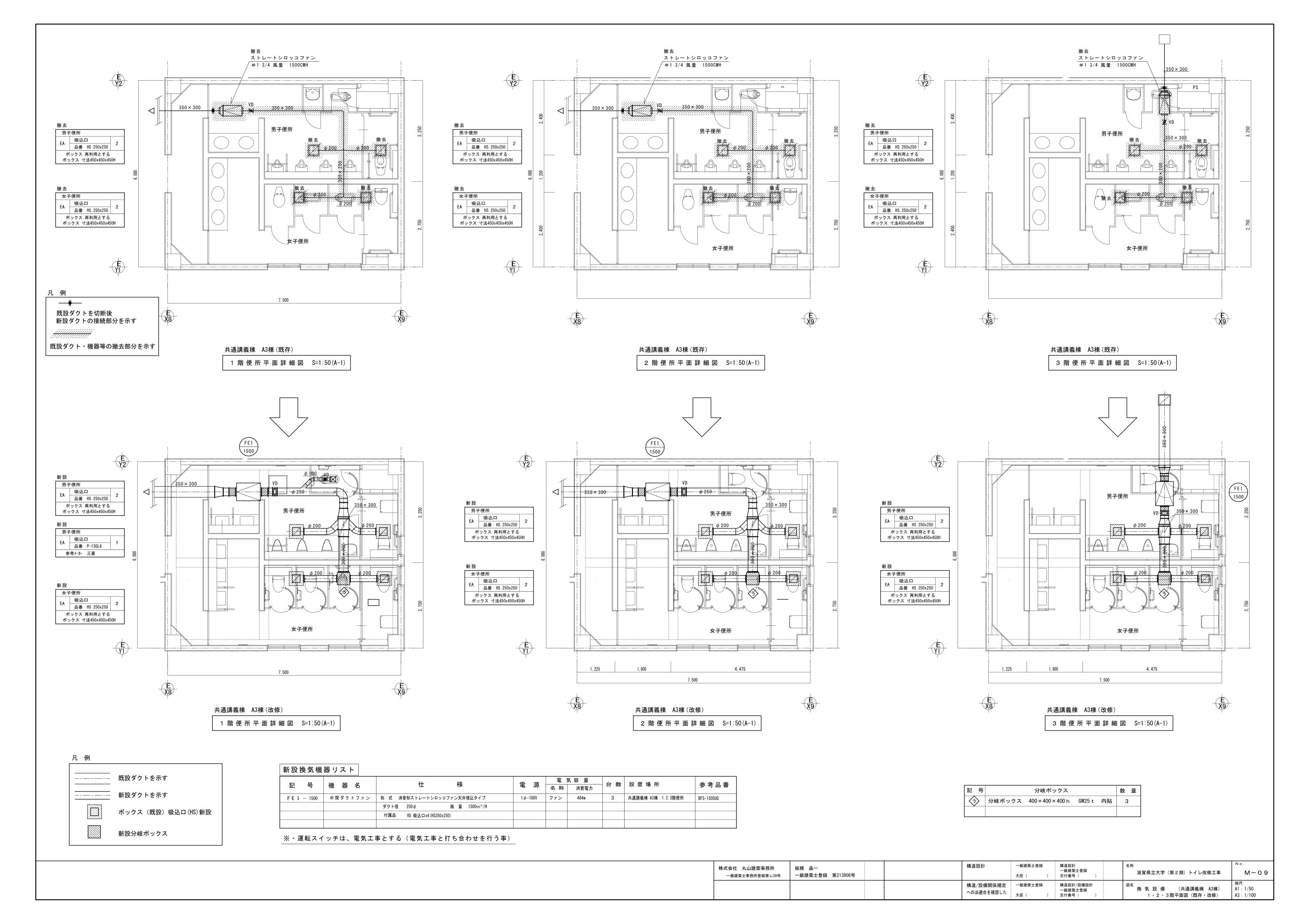


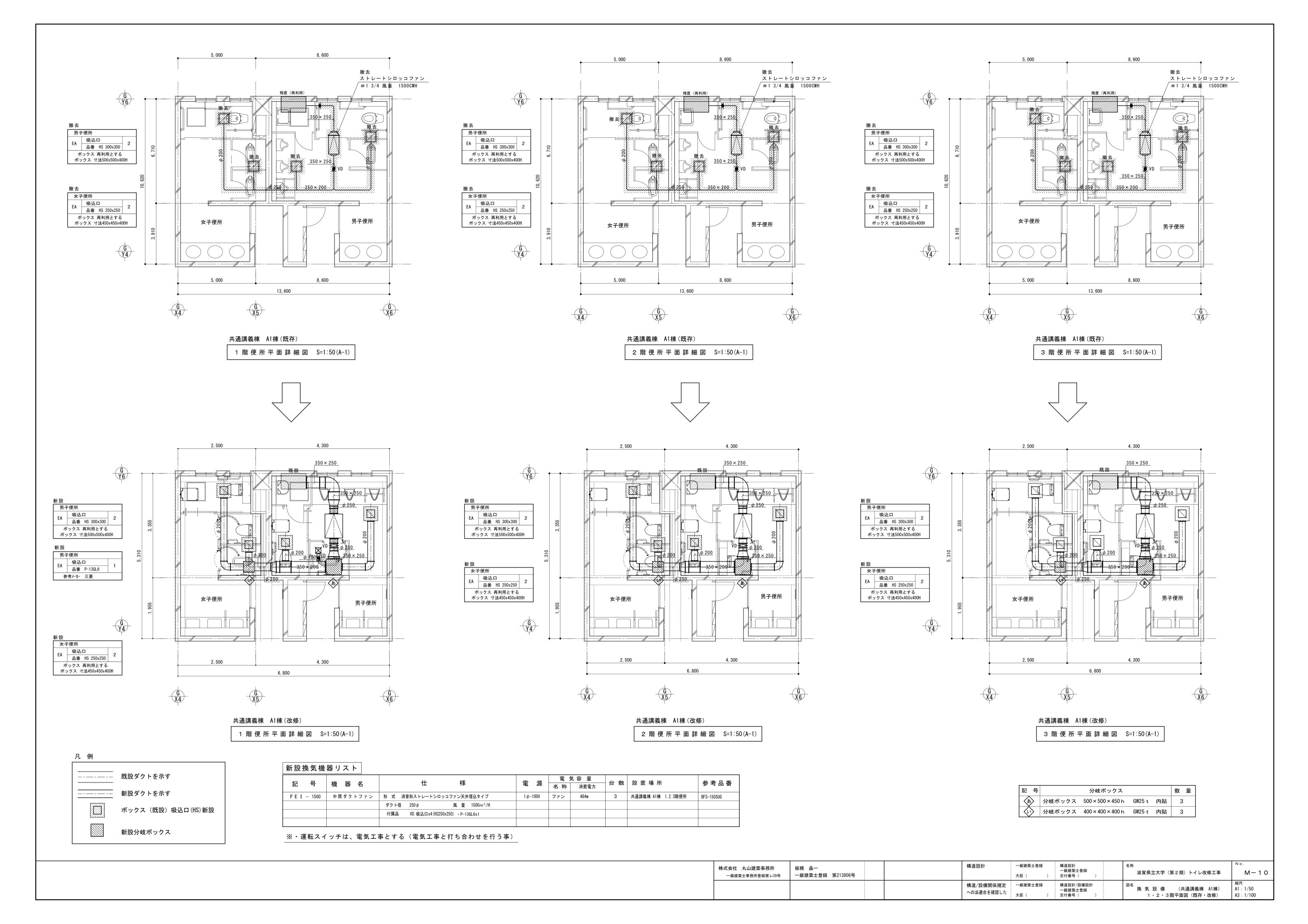
共通講義棟 A3棟(改修)
3 階便所平面図

○ 給水用開口部 ○ 排水用開口部 ○ 既存開口部

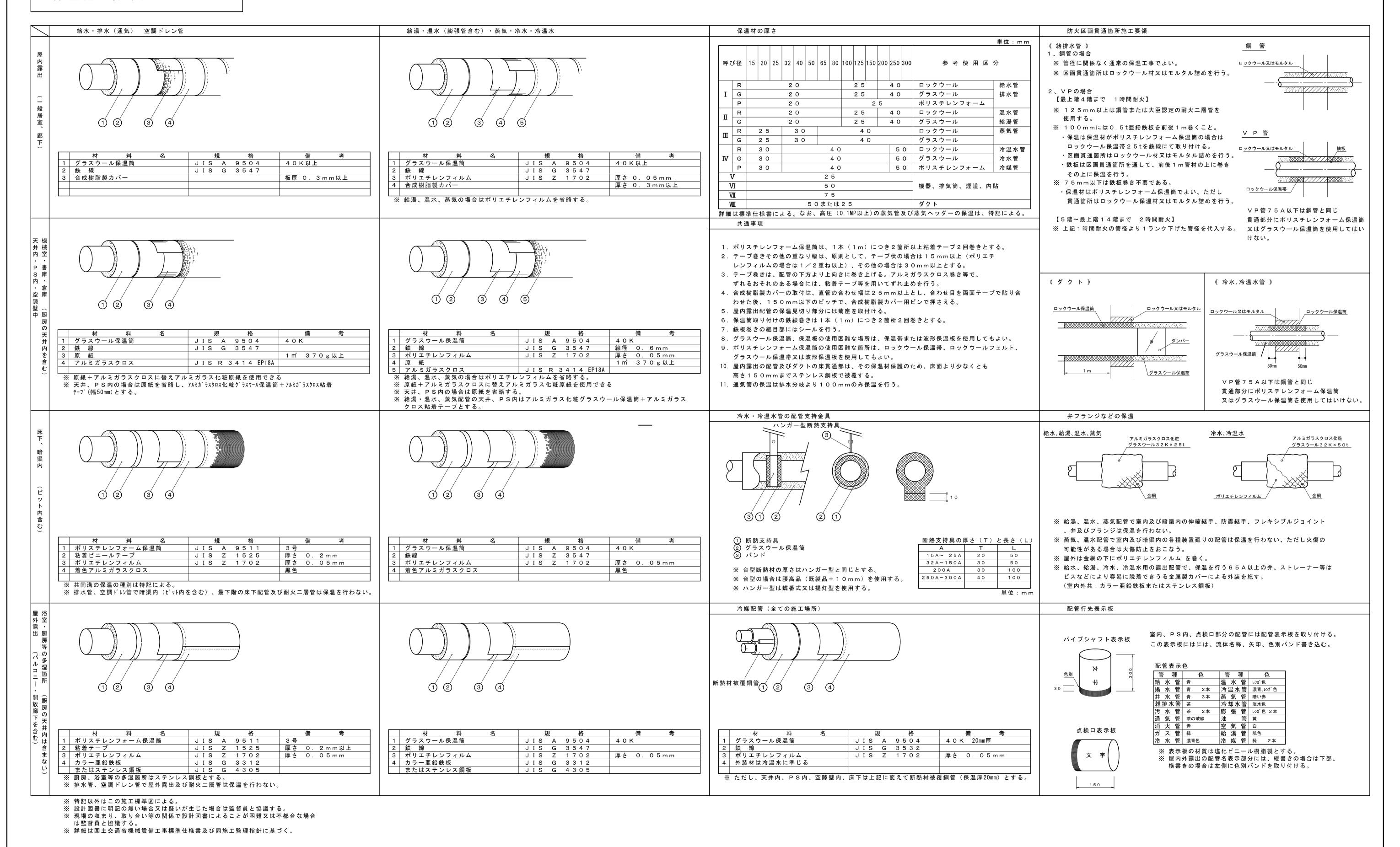
3階は天井隠ぺい内配管とする

株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第レ39号	板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号	構造記	表 一級 大臣	構造設計 一級建築士登録 交付番号())	^{名称} 滋賀県立大学(第2期)トイレ改修工事	M – 0 8
			近/設備関係規定 一級 法適合を確認した 大臣	構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号()	図名 給排水衛生設備 (共通講義棟 A3棟) 3階平面詳細図(既存・改修)	縮尺 A1:1/50 A3:1/100





保 温 施 工 標 準 図 No. 1



構造設計

への法適合を確認した

板橋 晶一

一級建築士登録 第213806号

株式会社 丸山建築事務所

一級建築士事務所登録第レ39号

一級建築士登録

構造/設備関係規定 一級建築士登録

一級建築士登録

構造設計/設備設計

一級建築士登録

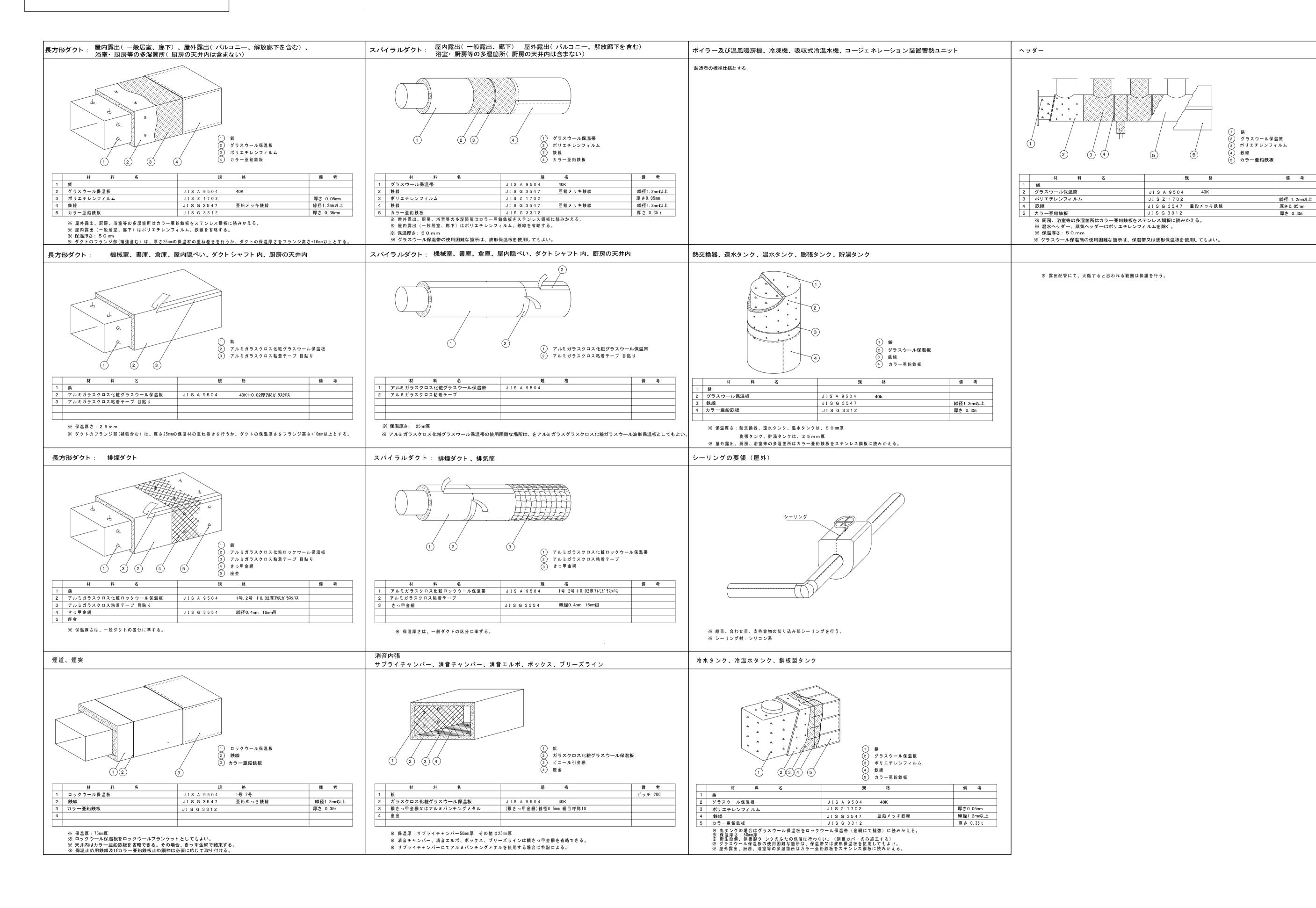
交付番号(

交付番号(

滋賀県立大学(第2期)トイレ改修工事

機械設備 保温標準図-1

M - 11



 株式会社 丸山建築事務所 一級建築士事務所登録第レ39号
 板橋 晶一 一級建築士登録 第213806号
 構造設計 一級建築士登録 大臣()
 名称 ※ 交付番号()
 滋賀県立大学(第2期)トイレ改修工事
 M-12

 構造/設備関係規定 への法適合を確認した での法適合を確認した
 一級建築士登録 大臣()
 構造設計/設備設計 一級建築士登録 交付番号()
 図名 機械設備 保温標準図-2
 機械設備 保温標準図-2